

平成18年4月27日

各位

会社名 ピー・シー・エー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大炊良晴
 (コード番号 9629 東証第二部)
 問合せ先 専務取締役 水谷 学
 (TEL. 03-5211-2711)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成17年5月16日の決算発表時に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1.平成18年3月期通期業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)
 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,800	1,750	1,041
今回修正予想(B)	6,306	1,702	284
増減額(B-A)	493	47	756
増減率(%)	7.2	2.7	72.7
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	5,905	1,504	878

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 33円54銭

- 2.平成18年3月期連結業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)
 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,870	1,780	1,059
今回修正予想(B)	6,383	1,789	335
増減額(B-A)	486	9	723
増減率(%)	7.0	0.5	68.3
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	6,005	1,565	915

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 40円39銭

3. 修正の理由

(特別損失の計上)

当社における保守契約サービスの収益計上について、従来の代金入金時に一括して計上する方法から契約期間の経過に対応して按分計上する方法に変更することを、4月27日開催の臨時取締役会で決定いたしました。

これは、平成18年3月30日付で企業会計基準委員会が公表した「ソフトウェア取引の収益の会計処理に関する実務上の取扱い(実務対応報告第17号)」において、「サービスについては提供期間にわたる契約の履行に応じて収益認識を行う」と実務上の取扱いが明示されたこと、保守サービスの提供内容が契約期間に亘って継続的に行われるようになってきたこと、及びその金額的重要性が増してきたことにより変更したものであります。

上記の実務上の取扱いの適用時期は、平成19年4月1日以後開始する事業年度からとなっておりますが、平成19年3月31日以前に開始する事業年度からの適用も認められており、当社といたしましては、迅速な対応が経営上適切な措置であるとの判断に基づき、平成18年3月31日終了事業年度より早期に適用すると決したものであります。

この決定に基づき、前期売上修正額1,215百万円を特別損失として計上することにいたしました。

以 上